



## 高校生活振り返り

### 生徒会活動を振り返って

杉浦 可奈子

1年生後期から副会長、2年生後期から生徒会長と、高校生活の半分以上生徒会に関わり続けましたが、任期を終えた時はあっという間にも感じました。谷地高生として、リーダーとして役目を果たすことができたのは、先生方や生徒会執行部の仲間、そして谷地高生全員のおかげです。また、かほくらし社さんや地域の方々の支えがあったからこそ「かほく探求実践プロジェクト」という貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。

生徒会での思い出がありすぎて、こうして振り返ってみるとうまく書けません。印象に残っていることをいくつかお話ししようと思います。

生徒会長に選ばれ、新体制として活動しようと動き出した時、執行部で話し合い「谷地高発信化計画」を作成しました。そこには、数年間かけて行う活動もありましたが、他の活動は計画的に実行でき、谷地高の発展に貢献できたと思います。

「かほく探求実践プロジェクト」では、地域の企業さんと協力し、「谷地の雫」第二弾や酒粕石鹸などを開発することができました。ほかにも、地域のイベントに参加し年代を超えて多くの方々と交流でき楽しかったです。昨年は、「全国高等学校小規模校サミット」に初参加し、県外の高校生と交流し、活動発表を行いました素敵な活動を知ることができました。私たちも頑張ろうと思える、活力あふれる活動でした。

この3年間生徒会に携わり、これほど充実した高校生活は谷地高じゃないと経験できなかった、と感じました。「やるぞ！ちからの限り」の合言葉のもと、みなさんも全力で青春を謳歌して下さい。